



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3379 号 2016.12.2 発行

避難準備情報、「避難準備・高齢者避難開始」に変更へ 朝日新聞 2016年12月2日

8月の台風で避難情報に混乱が生じたことを受け、内閣府は2日、災害時に援助を必要とする人たちに避難を促す「避難準備情報」の名称を、「避難準備・高齢者避難開始」に変える案を示した。この案を軸に年内にも変更する見通しだ。

避難準備情報は、2005年にできた内閣府の「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」で規定された。高齢者や障害者ら「要配慮者」に早めの避難を促し、それ以外の住民には準備を呼びかける内容だ。

しかし、8月30日の台風10号の豪雨では、岩手県岩泉町が避難準備情報を出したが、高齢者グループホームなどで情報の意味が理解されず、避難が遅れて犠牲者が出たケースがあった。

このため、内閣府は10月から有識者らの検討会を開いて情報伝達のあり方の検討を進め、2日の会合で改定案を示した。文言の調整をした上で、年内にガイドラインに盛り込む方針だ。

重度障害児の在宅医療支援 熊大病院にセンター開所 支援員育成し連携強化も

西日本新聞 2016年12月02日

熊本大医学部附属病院に開所した「小児在宅医療支援センター」

継続的な医療ケアを必要とする重度障害児の家族や医療関係者に、在宅医療の情報を提供する専門相談窓口「小児在宅医療支援センター」が30日、熊本市中央区の熊本大医学部附属病院に開所した。相談業務に加え、患者家族と関係機関を橋渡しする専門コーディネーターを育成。障害児のケアに従事する関係者を集めた会議を定期開催し、ネットワーク作りも担う。

県医療政策課などによると、県内の重症心身障害児数は約400人（2013年8月現在）で増加傾向にある。都市部以外の地域では、訪問看護師など在宅医療に携わる医療関係者が特に不足しており、保護者の負担が深刻な問題となっている。センターは、居住地にかかわらず全ての子どもが必要な医療や教育、福祉を受けられる環境整備を目指すという。

相談窓口では、医師や理学療法士などのスタッフが個別相談に応じる。また、小児科医を対象に実技講習会を実施。要望があれば学校に出向き、人工呼吸器の使用方法を説明する出前講座も開く。訪問看護ステーションなど関係機関の相談は12月1日から受け付け開始。一般からの相談は来年4月から受け付ける予定。

中村公俊センター長は「障害のある子どもが社会の中で元気に育つよう、関わる人たちが顔の見える関係を築くための中核機関にしたい」と話した。



## 日産、UDタクシー「セレナ」の出発式 東京五輪に向け普及促進

産経新聞 2016年12月2日  
買い物客に扮したモデルを乗せ、出発する日産自動車のUDタクシー仕様「セレナ」＝2日、東京都港区（会田聡撮影）



日産自動車は2日、東京都内で、高齢者や障害者が乗りやすい「ユニバーサルデザイン（UD）タクシー」の仕様にしたミニバン「セレナ」の出発式を開いた。政府や都の補助金を活用し、タクシー大手3社が導入。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、普及を進める。

日産の石井裕晶理事は式で、「20年に向け大きな荷物を運ぶ外国人や、車いす利用者のニーズは高まる。みんなに優しいタクシーとして普及を図る」とあいさつした。

セレナは、政府のUDタクシーの規定を基に乗降用の手すりなどを追加した。UDタクシーをめぐるっては、都が東京五輪・パラリンピックを見据え、1台最大60万円の補助金を支給し、20年度に都内で1万台の普及を目指している。

## 10年放置の休眠預金1000億円、貧困対策や福祉に活用へ

TBS ニュース 2016年12月2日

銀行の預金をめぐる話題です。長い間使っていないで、存在を忘れていた口座はないでしょうか。所有者に忘れられた預金が毎年1000億円もあるそうです。こうした休眠預金を活用するための法律ができました。

長い間使っていない預金口座、ありませんか？

「暗証番号忘れちゃって、そのままにしているものもある」（街の人）

「（亡くなった）母の通帳が出てきて、うちの母は宮崎だったので、向こうで作った通帳が20年くらいたって」（街の人）

引っ越しで忘れてしまったり、亡くなった人の口座の存在を家族が知らなかったり、銀行などに預けられて10年以上取引がない預金は「休眠預金」と呼ばれ、毎年、1000億円以上も発生しています。残高が1万円未満のものは、預金者への通知もなく、毎年、500億円ほどが銀行などの収入として扱われてきました。そうした「眠った預金」が新たに活用されることとなります。

2日、成立した「休眠預金活用法」。毎年、およそ500億円の休眠預金をNPO法人に助成するなどして、公益活動に活用します。法案の成立を訴えてきたNPO関係者からも喜びの声を上げました。

「NPOや地域の福祉団体がサポートしようと思っても先立つものがない。そうした状況のとき、休眠預金からお金を得て、いち早く政府や自治体よりも助けの手を差し伸べられる」（NPO法人 フローレンス 駒崎弘樹代表理事）

具体的には、子どもの貧困対策や障害者の自立支援などへの活用が想定されていますが、どんな団体に助成するべきかなど具体的な制度設計は今後検討されます。

「きちっとした形で使ってもらえるなら、自分がだらしなくしていた分、そういうところ（NPOなど）で活用してもらえればいい」（街の人）

一方、こんな声も・・・

「没収されちゃうんだったら、早く行って引き落とさないで」（街の人）

心配の声があがりましたが、法律が施行された後でも預金者が請求すれば、全額、払い戻されることになっています。眠った預金がないか調べるいい機会になるかもしれません。

## 八幡浜の作業所でもちつき交流



させて口にしていた。市内の病院やボランティアグループによるバザーもあった。

愛媛新聞 2016年12月2日

障害への理解を深め、作業所に親しみを持ってもらおうと愛媛県八幡浜市八代の精神障害者通所作業所「王子共同作業所」は2日、地域住民らを招いた餅つき交流会を開いた。利用者や市民らが、湯気が立ち上るつきたての餅を頬張り和やかなひとときを過ごした。

作業所を運営する八幡浜地域家族会などが毎年開催し25回目。餅つきは、作業所で袋詰め作業を行っているクラッカーを参加者全員で鳴らしてスタート。交代で元気に餅をつき、早速あんこや大根おろしと合わせて

## 手作りできる障害児教材 岐阜の支援学校教員が考案の125点、本で紹介



中日新聞 2016年12月2日  
どこまで閉めればこぼれないか目で見て分かるように、ハートのシールをつけた水筒（東濃特別支援学校提供）

障害のある子どもの成長を促すため、簡単に手作りできる教材をまとめた「特別支援教育 簡単手作り教材BOOK」（クリエイツかもがわ）が、十一月末に出版された。岐阜県の特別支援学校の教員たちが考えた百二十五点を紹介しており、学校だけでなく障害児のいる家庭でも使える工夫が盛り込まれている。

教材を作ったのは東濃特別支援学校（岐阜県土岐市）の先生たち。同校は二〇〇九年から、教材作りのノウハウを教員で共有するため、教材を紹介する通信を年五十枚ほど作成。各年度に冊子にまとめてきた。蓄積された教材は、それ以前に作ったものを含めて、約五百点にのぼる。

体の不自由な子でも、木琴で音を出せるよう、手袋と木製の小さな玉で作った道具など、さまざまな障害に対応する知恵がいっぱい。道具のもたらす効果と、成長のどの段階で使えるかも示されている。

帽子にボタンを付け、マスクのゴムをかけると、感覚過敏の子でも大丈夫（東濃特別支援学校提供）



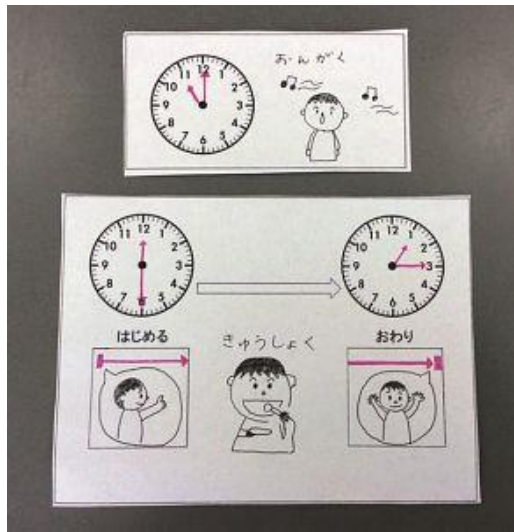
こうした教材を、障害のある子を育てるのに不安を抱く親や、障害児の指導に困っている教育関係者に伝えたいと、原武志校長が出版を発案した。

「簡単に作れるものを選んだ。ちょっとした工夫で、できることは増やせる。子育てや教育の不安を解消するヒントにしてもらえれば」と話す。障害がない子への教材としても使えそうだ。A5判百二十八ページ。千六百二十円。（問）同校＝電0572（55）4821

### ◆成長促す工夫盛り込む

【時間がわかって安心メモ用紙】針のない時計の文字盤が二つと、活動を示すイラストが描けるメモ用紙を準備する。始めの時間と終わりの時間を示す時計の針を描き加え、活動の中身とイラストを描く。具体的な見通しを示すことで、見通しの立たないことに強い不安を抱く子どもを落ち着かせる効果がある。

【水筒の中身 こぼれません】水筒のふたがしっかり閉まった状態で一直線になるように、ふたと本体にシールを付ける。発達障害の子は「しっかり閉める」といった言葉のニュアンスを読み取るのが苦手で、具体的な言葉で伝えた方が理解しやすい。「シールがピッ



えるのが苦手な子のための「気持ち整理カード」なども紹介されている。(佐橋大)

「時間がかかって安心メモ用紙」の使用例(東濃特別支援学校提供)

【耳にかけないマスク】感覚過敏は障害児に多く、音や肌への接触などのわずかな刺激に耐えられないほどの苦痛を感じる。マスクのゴムひももそのひとつ。耳に掛けるのが苦手な子のために、給食の帽子に、マスクのひもを引っかけるボタンを取り付けた。

【その他】包丁で指を切るのを防ぐ市販の「指ガード」と、まな板シートを組み合わせて包丁の安全な使い方を覚える支援グッズ、数を数えるのが苦手な子の学習支援の道具、気持ちを伝

えるのが苦手な子のための「気持ち整理カード」なども紹介されている。(佐橋大)

## 大人の発達障害が疑われる人が持つ脳の特徴 意識して鍛える方法はある

東洋経済オンライン 2016年12月2日

加藤 俊徳 :医学博士、「脳の学校」代表 加藤 俊徳医学博士、「脳の学校」代表 医師、医学博士。株式会社「脳の学校」代表。加藤プラチナクリニック院長。14歳のときに「脳を鍛える方法」を知るために医学部への進学を決意する。昭和大学医学部、同大学院卒業後、1991年、子どもの脳活も計測できるfNIRS法を発見。その後、アメリカ・ミネソタ大学放射線科MR研究センター、慶應義塾大学、東京大学などで脳の研究に従事。胎児から100歳を超えるお年寄りまで1万人以上のMRI脳画像とともにその人の生き方を分析。2006年、株式会社「脳の学校」を創業。13年、加藤プラチナクリニックを開設。ビジネス脳力診断、発達障害や認知症の診断・予防医療を实践。近著に『アタマがみるみるシャープになる!! 脳の強化書』『アタマがどんどん元気になる!! もっと脳の強化書2』『まんがで鍛える 脳の強化書』(いずれも、あさ出版)、『脳の学校 ワークブック』(ポプラ社)、『脳が喜ぶ子育て』(世界文化社)などがある。最新刊は『ゆがみをなおせば、毎日のワクワクが取り戻せる! 脳コンディショニング』(かんき出版)。



脳の専門家がメカニズムを解説します(写真:taa/PIXTA)

俳優でモデルの栗原類さんが今年5月、NHK「あさイチ」で発達障害であることを告白し、話題を呼びました。

主な発達障害は「自閉症」「高機能自閉症」「学習障害(LD)」「注意欠陥/多動性障害(ADHD)」「アスペルガー症候群」などが挙げられます。いずれの症状も

基本的には、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています(文部科学省HPより)。

発達障害は、いまや子どもだけの問題ではありません。知的発達には問題のない大人でも、社会の中で生きる困難さを体験してからようやく、「自分は発達障害かもしれない」と疑いを持つケースがあります。

一方で、大人の発達障害の症状は、人と目を合わせにくくなったり、朝寝坊しやすかったりなど、健常者でもあり得る症状を示すことがあるため、医師でも診断が困難な場合が多く認められます。さらに、外来では症状に気づきにくいことから、明確に診断できる医師は少なく、また診断や投薬の指示ができたとしても、一人ひとり異なる症状に対して、なぜそうなっているか、どうすれば悩みが解決するか、説明してくれるところはほとんどないのが現状です。

私はMRI(磁気共鳴画像)という技術を使って、1万人以上の脳画像を分析してきた結果、発達障害が疑われる代表的な脳の特徴を発見し「海馬回旋遅滞症」と名づけ、子ども

だけでなく大人の発達障害の支援を行って来ました。本稿では、拙著『アタマがみるみるシャープになる!脳の強化書』から、この「海馬」のメカニズムをご紹介します、具体的な対処法をまとめてみたいと思います。

### 原因は海馬とその周囲の発達の遅れ

何度同じことをやっても身に付かない。人との交流が深く発展しない。自分の感情がコントロールしにくい。すぐに一方的に怒ってしまう。周囲の環境になじめない。不器用。タイムマネジメントができない。記憶力に不安がある。自分には心当たりがないのに上司や家族から責められる……。発達障害が疑われる人の症状はさまざまですが、その主な原因は、脳の中にある海馬の発達の遅れ「海馬回旋遅滞症」にあると考えられます。発達障害はコミュニケーション障害に知的障害を合併することから、海馬とその周囲の成長発達の問題と仮説を立てられるからです。

脳の記憶をつかさどる部位である海馬は、胎児のときから、回転しながら発達しており、右の海馬のほうが、左の海馬よりも少し速く発達することがわかっています。このとき、左の海馬の発達のスピードが極端に遅れることがあり、この遅れが、さまざまな脳の発達障害や、性格の特徴、コミュニケーション障害などを生み出していると考えられます。

現在、「海馬回旋遅滞症」は MRI による脳画像で比較的簡便に診断することができるようになりました。このとき、大切なのは「今の自分の脳がどういう状態にあるのか」を知り、そのうえで、「これからどうすればいいのか」対策を立てることです。

具体的には、脳の中の海馬というわずか 5 センチの器官が未発達だったとしても、その周辺の脳を成長させていくことが、私は、この「海馬回旋遅滞症」をカバーする非常に有効なアプローチだと考えています。

### 海馬に直接影響を及ぼす感情系脳番地とは

脳には、1000 億を超える神経細胞がありますが、これらは同じ働きをする細胞同士で「基地」をつくっています。この基地と、そこに集まっている脳細胞のことを、私は「脳番地」と呼び、大きく次の 8 つに分類をしています。

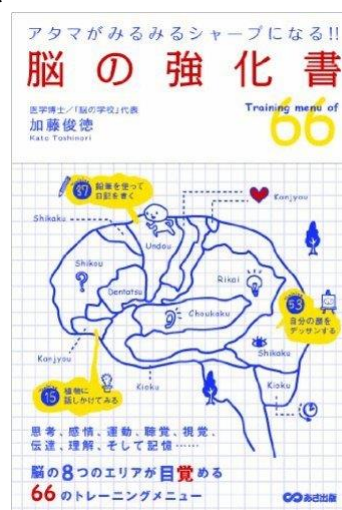
- ①思考系脳番地——人が何かを考えるとときに深く関係する脳番地
- ②感情系脳番地——喜怒哀楽などの感情を表現するのに関与する脳番地
- ③伝達系脳番地——コミュニケーションを通じて意思疎通を行う脳番地
- ④理解系脳番地——与えられた情報を理解し、将来に役立てる脳番地
- ⑤運動系脳番地——体を動かすこと全般に関係する脳番地
- ⑥聴覚系脳番地——耳で聞いたことを脳に集積させる脳番地
- ⑦視覚系脳番地——目で見たことを脳に集積させる脳番地
- ⑧記憶系脳番地——情報を蓄積させ、その情報を使いこなす脳番地

このなかで、海馬が所属するのが⑧の「記憶系脳番地」であり、この部位と密接にかかわるのが、②の「感情系脳番地」です。「感情系脳番地」は、脳の側頭葉にあり、「記憶系脳番地」のすぐ前方に位置します。感情を大きく揺さぶられた出来事が記憶に残るように、この「感情系脳番地」の影響は、「記憶系脳番地」にダイレクトに作用します。そのため、感情のコントロールを強化することで、海馬にプラスの影響を与えることができます。

「感情系脳番地」を鍛えるトレーニングには、「過去の楽しかった思い出のベスト 10 を挙げる」「まわりの人にその人の印象を伝える」「自分で自分をほめるノートをつける」などがあります。

### 海馬が弱ったら思考系脳番地を鍛える

また、海馬が萎縮して正常に働かなくなると、そのサインとして「記憶力」の低下が見



られます。このとき、萎縮して正常に働かなくなっている海馬に対して、無理に「これを覚えなさい」と命令を出したところで、あまり効果的ではありません。

『アタマがみるみるシャープになる!脳の強化書』(あさ出版)。書影をクリックするとアマゾンのサイトにジャンプします

このとき、有効なのは思考力、すなわち「思考系脳番地」を鍛えることです。たとえば、他の人とコミュニケーションを図るなどして情報交換の機会を増やし、思考力を強化すると、記憶力を低下させていた海馬の働きも回復していきます。

他にも「思考系脳番地」を鍛えるものには、「1日の目標を20字以内でつくる」「じゃんけんや囲碁、将棋などでわざと負ける」「寝る前に必ず3つのことを記録する」といったトレーニングがあります。

このように海馬とつながったさまざまな脳番地を強化することで、海馬の弱点をカバーできると同時に、海馬自体にもプラスの影響を及ぼすことができます。そして、自分の長所と短所を把握し、その周辺の脳番地を意識して鍛えることは、「海馬回旋遅滞症」の対処に限ったことではなく、脳を成長させるうえで、非常に重要なポイントなのです。

#### **養子縁組あっせん、許可制法案成立へ 悪質事業者を排除 朝日新聞 2016年12月2日**

望まない妊娠による出産や虐待などを理由に実の親が育てられない子どもを対象に養子縁組をあっせんする民間事業者を規制する法案が、今国会で成立する見通しとなった。参院は先月、全会一致で可決。与野党は来週中に衆院でも審議し、14日の会期末までに成立させることで合意した。

与党が年金制度改革法案の衆院採決を強行した影響で、衆院厚生労働委員会は開けない状態だった。だが、民進党の山井和則国対委員長は2日の記者会見で規制法案について「確実に臨時国会で成立させようと合意した」と明かした。

養子縁組のあっせん事業は都道府県に経営者の名前などを届け出ればできる。昨年10月時点で22の個人・団体が届け出ている。今年9月には千葉県の団体が養子縁組を希望する親から不当な現金を受け取ったとして、県から事業停止命令を受けた。法案は事業を許可制にすることが柱で、悪質な事業者の排除をめざす。

社会福祉法人や医療法人など経営基盤が安定し、営利目的でないことなどを許可基準に規定。個人情報の適切な管理も徹底する。無許可でのあっせんには1年以下の懲役など罰則を設ける。あっせんの際には、専門的な知識や技術に基づき実の親や養子を迎える親、子どもらを支援することも義務づける。国や自治体には事業者への財政支援や研修の実施などを促す。(伊藤舞虹)

#### **訪問入浴の仕組みは スタッフが専用車などで自宅に 北海道新聞 2016年12月2日**

<質問> 訪問入浴介護とはどのようなサービスですか。

<回答> 介護保険サービスでの入浴の支援には、デイサービスセンターなどに行く通所介護や通所リハビリテーション、自宅のお風呂に入ることを介助してくれる訪問介護(ホームヘルプサービス)があります。このほかに利用できるのが、ご質問の訪問入浴介護です。

訪問入浴介護は、入浴設備や簡易浴槽を積んだ専用車などで自宅を訪問し、入浴を介助してくれるものです。例えば《1》まひなどがあって自宅のお風呂に入るのが困難《2》家族が介助したくても方法が分からない《3》寝たきり状態などで家族が介助するのは難しい《4》デイサービスなどに外出することが厳しいなどの状況で、浴槽に漬かってお風呂に入りたいという人を対象としたサービスです。

介護保険サービスですので「要介護」や「要支援」の認定を受けていることが必要です。ケアマネジャーに入浴について困っている現状を伝え、どの入浴サービスを選択するかを一緒に考えてもらいます。訪問入浴が最適であると判断されると利用開始の準備になります。準備の段階で訪問入浴事業者が決まると、自宅に簡易浴槽が置けるか、水道やお湯の設備がどうなっているか、本人が訪問入浴に適しているかなどを調査し、可能と判断されればサービス利用となります。

訪問入浴当日は通常、次のような流れになります。まずスタッフが訪問入浴の専用車でやってきます。スタッフは3人で、1人が看護職員、2人が介護職員です(3人とも介護職員の場合もあります)。

到着後、体温、脈拍、血圧などを測定し、食事や排せつなど日常生活の状況を聞き取って入浴可能か判断します。可能となれば浴槽の設置やお湯の準備をします。浴槽は事業者が持ち込みます。お湯は自宅の水を移動入浴車にいったん入れて入浴車の給湯設備を使う場合と、自宅で沸かしたお湯を使う場合があります。

スタッフが入浴介助をし、体や頭を洗ってくれます。入浴後は再度体調に変化がないかチェックし、簡易浴槽の撤去など後片付けをして終了です。訪問から終了まで40分から1時間くらいが目安となっています。

料金は、札幌市で要介護認定を受け1割負担のときで、看護職員1人と介護職員2人の場合で1260円、介護職員3人の場合で1197円です。

入浴は、皮膚を清潔に保つこととかゆみを減らしたり床ずれの防止になったりします。また、温浴効果で血行が促進されるなど身体的な効果や、気分転換やリラックスできるなど精神的な効果もあると言われています。入浴の機会の確保は大切です。

(北海道老人福祉施設協議会会長、特別養護老人ホーム厚別栄和荘総合施設長 瀬戸雅嗣)



## 論説：大町町立病院民営化 将来の医療見据え議論を 佐賀新聞 2016年12月02日

杵島郡大町町で町立病院を民間の病院に経営移譲する話が持ち上がっている。水川一哉町長は12月定例町議会での議論を経て、移譲の是非について一定の方向を決める方針だ。移譲に反対する町民でつくる「町立病院の存続を求める会」は、町に約5千人分の存続要求署名を提出した。

民営化協議は新武雄病院(武雄市)が町に経営移譲を打診したことで始まった。指定管理者制度を使って別の病院に運営委託することなども検討した。

町は民営化を検討する理由として①建物の老朽化②患者数減少など運営の悪化③医療を巡る今後の情勢—の三つを挙げる。

建物は築40年で耐用年数を超え耐震基準も満たしていない。スプリンクラーもなく、建て替えが課題だが、基金などがなく困難とする。2015年度の1日平均の外来患者数は92人で、ピーク時から半減。60床の病床利用率は13年度の86・8%をピークに減少傾向で、今年4～9月は64・6%まで落ち込んでいる。本年度収支見通しは8千万円の赤字とみる。

こうした現状の厳しさに加え、総務省の「新公立病院ガイドライン」などをもとに今後は交付税の減少や病床数削減も危惧されると分析。「廃院を避けるため、入院施設のない診療所を残すことを条件に移譲を検討する」とする。

町民には賛否の声がある。2回の町民説明会では「民間は収支が悪化すれば撤退する」

という懸念の一方、「赤字の上、建て替え資金が厳しいのなら移譲はやむを得ない」という声も上がった。ベッド数を40床程度に減らし、耐震基準を満たす一部施設を生かして増築するという提案もあった。「存続を求める会」の署名は町内外から5284人分。「町民の生命、杵藤地区の医療を守るためにも病院存続を」と訴えている。

議論は町議会で本格化するが、協議のためにももう少し情報が必要だ。少なくとも①病院存続がどの程度難しいのか②移譲の条件となる診療所の診療科はどうなるのか—という2項目は詰めたい。

病院存続については運営予測と建て替えや改修費用の概算は欠かせない。説明会では、直近10年の収支で7年は黒字であることや、現在は60%台の病床利用率も過去10年では80%台が6年、70%台が3年という数字も明らかにされた。町が行った建て替えの試算も含め、存続した場合の予測は示したい。規模縮小による存続案についての見解も示すべきだろう。

診療科目について町は、新武雄病院に内科、眼科、整形外科の開設を求めている。現在は内科と眼科は毎日、皮膚科や整形外科などは週に数日という診療体制だが、診療所になった場合にどうなるのかは、議論の大前提だろう。

国は「地域包括ケアシステム」の構築を進めている。高齢者が住み慣れた地域で医療や介護、生活支援など五つのサービスを一体的に受けられる仕組みだ。実施主体は自治体などの地域。医療機関のバックアップが欠かせない。医師会関係者は「公立病院はその中核になる施設」とも指摘する。

「厳しい経営状況への対処」と「将来にわたる地域医療の充実」という難題の中で方向性を探ることになる。数字の分析だけでなく、識者の知見も聞くなど、冷静に議論を尽くしたい。(小野靖久)

## 恋人に別れを切り出された男が言う…

西日本新聞 2016年12月02日

恋人に別れを切り出された男が言う。「行っちゃいなよ。俺が電話を次の女にしているうちに」。回すダイヤルは「177」。別の女性と話しているふりをして、天気予報に相づちを打つ。男の強がりか、去っていく恋人への思いやりか▼1981年に野口五郎さんが歌った「ダイヤル177」(作詞・伊藤アキラさん)。くもり後雨 177/どうせ降るなら嵐にしておくれ。昭和の薫りたっぷりの切ないバラードだ。電話で聞く天気予報が身近な時代だったNTTの固定電話から発信される「177」の利用件数が、10年間で約5分の1に減ったそう。固定電話の減少に加え、携帯電話やNTT以外の通信会社からの発信は集計に含まれないという事情も▼それ以上に大きな要因は、インターネットの普及だろう。スマートフォンなら、ワンタッチで1時間ごとの天気や気温などの詳しい気象情報を知ることができるようになった▼ただ、減少傾向とはいえ、昨年度の利用件数は1日当たり約3万8千件もあった。ネットを使わない高齢者や視覚障害者にとって、177は強い味方。NTTもサービスは続けていくという▼10年ぶりくらいだろうか、手元の固定電話から177にかけてみた。「ピンポンパンポーン、福岡管区气象台発表の…」。流れてくる女性の声は、人工音声のはずなのに、なんだか懐かしい感じがして、相づちを打ちたくなった。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

